

飛鳥資料館春期特別展のご紹介

「キトラ古墳壁画四神玄武」

平成19年4月20日(金)~6月24日(日)

大盛況だった昨年のキトラ古墳壁画「白虎」の特別公開に引き続き、飛鳥資料館では今年度も、関係諸機関のご協力のもと、5月11日(金)~27日(日)までの17日間の期間限定で「玄武」の特別公開を致します。また、この公開にあわせて、春期特別展では、中国における玄武の出現からキトラ古墳に至るまでの道のりを紹介致します。

玄武の出現は前漢に遡ります。王莽新から後漢にかけては中国各地にひろがりをみせ、南北朝になると、南朝の影響をうけつつ、北朝では、さまざまな図案の玄武が展開します。また、高句麗や百済など朝鮮半島でも、玄武を含む四神が現れます。つづく、隋唐時代では、その玄武の図案の様式化が進むこととなります。

日本の玄武は、古墳時代には断片的に伝わったとみられますが、その本格的な出現は、今回のキトラ古墳壁画の玄武を始めとします。

こうした玄武について、本特別展では、中国(漢

長安城出土の瓦当、山東省東安漢里の画像石拓本、北魏末の爾朱紹の墓誌蓋) 高句麗・百済(古墳壁画模写や写真パネル) 日本(福岡県竹原古墳壁画模写、奈良県藤ノ木古墳出土金銅製馬具レプリカ、高松塚古墳壁画模写)を中心展示し、玄武の源流を辿りたいと考えています。

玄武は、その発見によりキトラ古墳に壁画の存在を決定づけた、いわばキトラ古墳の象徴です。本展覧会では、こうした象徴たる玄武の神秘的な姿の謎について、ひろくご紹介したいと考えています。

(飛鳥資料館 清永 洋平)



キトラ古墳壁画 玄武

記録

埋蔵文化財担当者研修

報告書作成課程

平成19年1月10日~19日 20名

古代陶磁器調査課程

平成19年2月1日~9日 12名

環境考古学(生物編)課程

平成19年2月21日~28日 15名

現地見学会

飛鳥藤原第146次(甘樺丘東麓遺跡)

平成19年2月11日(日) 5,015名

平城宮跡資料館展示

パネル展「日中共同 唐長安城大明宮太液池の発掘調査」

平成18年5月27日~12月27日

奈良の都を掘る 発掘成果展 -平城2006-

平成18年10月31日~12月27日

速報展「西大寺食堂の井戸」

平成18年11月21日~継続中

飛鳥資料館冬期企画展

「発掘調査速報展 - 飛鳥の考古学2006」

平成19年1月16日~2月25日

特別講演会

平成19年2月3日(土)

「飛鳥の考古学2006 - 発掘された蘇我氏の飛鳥 - 」

明日香村教育委員会 相原嘉之氏

研究集会・研究会

古代官衙・集落研究会

平成18年12月15日~16日

遺跡整備・活用研究集会

平成19年1月25日~26日

お知らせ

飛鳥資料館春期特別展

「キトラ古墳壁画四神玄武」

平成19年4月20日(金)~6月24日(日)

臨時休館 5月10日(木)

編集「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.go.jp>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2007年3月